『皮膚浸潤を伴う乳がん患者背景と検出菌ついての研究』

のお知らせ

研究目的

乳がんは進行すると皮膚の表面から顔を出し、出血したり膿が出たりする場合があり、その状態は「皮膚浸潤」と呼ばれています。皮膚のバリアがないため、細菌感染を起こしやすく、膿の量が増えたり、臭いが出る場合があります。本研究は、乳がん皮膚浸潤を起こした患者さんの背景と、どのような菌が検出されたかを調査することを目的としています。

対象

当院を 2015 年 1 月から 2021 年 9 月までに受診され、乳がんが皮膚浸潤を起こした患者さんですでに細菌の検査を行っている方を対象とさせていただきます。

方法

電子カルテから患者さんのデータ（年齢、病気の状態、細菌検査結果など）を使用させていただきますが、調査結果で個人が特定されることはございません。

研究期間　2022 年 12 月から 2023 年 12 月まで

調査について

・研究費の助成などは受けていません。
・研究の結果は、学会で発表しますので、ご了承ください。
・あなたの情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので下記連絡先までお申し出ください。その場合、不利益が生じることはありません。

連絡先

ご不明な点は下記までご連絡ください。

〒051-8512 北海道室蘭市山手町 3 丁目 8-1
TEL: 0143-25-3111　内線 2642(外科外来)
市立室蘭総合病院　外科・消化器外科
担当責任者：宇野　智子
担当分担者：佐々木　賢一、西舘　敏彦、河野　剛、佐橋　倭